

「Web 城下町展」を作成し、ガイド講座や郷土学習講師として高梁の魅力を広めた

城下町高梁 PR 推進委員会

活動の目的

高梁には天守閣が現存する日本一高い山城・備中松山城があるが、全国的な知名度は今一つである。そこで、「Think Globally、Act Locally」をスローガンに、地元での観光ガイドや郷土学習講師をするとともに、3DやVRなどの新しい映像により登城が難しい高齢の方々が疑似体験できるコンテンツを制作する。このコンテンツは、Web上で公開し、地元の小・中学生や市民にも見ていただけるようにする。

また今後、東京で「城下町・高梁展」を開催し、城下町の魅力を広く伝え、観光客誘致の一助とし地域の活性化につなげていきたい。

活動の内容及び経過

「Think Globally」について、東京で予定していた「城下町・備中高梁展」は、新型コロナの拡大により中止とした。代わりに「Web 城下町高梁展」を制作・発信し、パネルで展示予定だった写真やドローン映像、3D、CG映像などを公開した。

「Act Locally」の部分では、「観光ミニガイド講座」を10月と11月に2回開催した。また、市内小中学校でも郷土学習の講師として関わった。

活動の成果・効果

- 「城下町・高梁展」用に新しく撮影した写真や動画をWeb上で公開した。地元の小・中学校での郷土学習でも活用され、郷土の魅力を伝えることができた。
- 映像だけでなく、人から人へ城下町・高梁の魅力を伝えていくため、「観光ミニガイド講座」を年2回開催することができた。この講座では、市内で郷土学習を実施する学校の教員や、身近な方（友人、親戚等）に高梁の魅力をガイドする方を対象とした。
- 市内中学校の郷土学習では、中学生が高梁の魅力をそれぞれ1枚の新聞にした。これを「地元の中学生から城下町魅力」のページとして発信することができた。

今後の課題と問題点

- 地域における活動として、観光ガイドや郷土学習講師を今後、増やしていく必要がある。
- コロナの状況によるが、新たに制作したコンテンツを学校や高齢者ホーム等で上映する機会を増やしていきたいと考える。
- コロナ禍にあって、市外、全国に向けて、効果的に情報発信していく方法を考える必要がある。



「Web 城下町高梁展」のページ



郷土学習の講師



地元中学生から魅力発信

- 代表者：小林朝雄 ●所在地：高梁市落合町阿部
- TEL：0866-22-9199 ●E-MAIL：koba-chan@infoseek.jp
- URL：http://ww91.tiki.ne.jp/~takuken/takahashi/
- 設立年：2012年 ●メンバー数：10名